

油屋町くんち舩版

編集担当 山之内 宏一

写真提供 Saori 山田

平成28年9月30日 第5版

根曳き 雨に泣かされる

最終練習はハマクロスで

平成二十八年九月十九日はあいにくの雨で、午後四時からの八坂神社での最終練習はできなくなり、急遽、アーケードの中のハマクロスで行うことになった。ハマクロスの周りには、たくさんの方が集まり、よく見えるように、前の方に陣取っている。川船は回すので、あまり近づくと船にぶつかったり、走る采にぶつかる危険がある。観客に危険が及ばないよう



に、練習の邪魔にならないように八坂蓮の備をしてくれ

た。練習は本番同様に、先曳きの入場から始まり、船の入場、油屋町川船根曳舟唄の披露、囃子の奉納、船頭の網打ち、川船の走り回し。何度のもってこいがかかった。船頭は毎日、朝早くから網打ちの練習を続けた。網のさばきも慣れたものである。川船の見せ所の一つ、走り回し。ハマクロスは地面が滑りやすく、観客も近いので、思いつきり、回せない。しかし、今回の根曳きたりはスピードを落とさず、うまく回していた。しかし、練習場とは違い、思いっきりできないかったことは事実で、どこまで仕上がったかは未知数である。

御飯さんで打ち上げ
練習終了後、総監



督、采、根曳らが集まった会は最後は一人一人がくんちへの熱まった。長采の練習思いを語り、舟唄を唄って終わった。いよいよ、くんちが迫ってきた。